



2020年3月12日

各 位

会社名 ネットワンシステムズ株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 荒井 透  
(コード番号：7518 東証第1部)  
問合せ先 管理本部 広報・IR室 山形 昌子  
(TEL. 03-6256-0615)

(訂正) 「2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2018年7月26日に開示いたしました「2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2020年3月12日)付「2020年3月期第3四半期報告書及び四半期決算短信の提出、並びに過年度の有価証券報告書等、決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月26日

上場会社名 ネットワンシステムズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7518 URL <https://www.netone.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 荒井 透  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 勝村 忠雄 TEL 03-6256-0615  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	<u>30,278</u>	<u>8.1</u>	<u>1,103</u>	<u>—</u>	<u>1,125</u>	<u>—</u>	<u>△2,203</u>	<u>—</u>
2018年3月期第1四半期	<u>28,015</u>	<u>2.4</u>	<u>△76</u>	<u>—</u>	<u>△90</u>	<u>—</u>	<u>△227</u>	<u>—</u>

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △2,085百万円 (—%) 2018年3月期第1四半期 △197百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	<u>△26.04</u>	<u>—</u>
2018年3月期第1四半期	<u>△2.69</u>	<u>—</u>

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	<u>98,277</u>	<u>54,353</u>	<u>55.2</u>	<u>640.48</u>
2018年3月期	<u>102,146</u>	<u>57,708</u>	<u>56.3</u>	<u>680.10</u>

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 54,220百万円 2018年3月期 57,547百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期(予想) 第2四半期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 創立30周年記念配当2円00銭  
2019年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 創立30周年記念配当2円00銭

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	73,800	<u>11.6</u>	2,700	<u>70.8</u>	2,700	<u>64.7</u>	1,800	<u>108.4</u>	21.27
通期	170,000	<u>10.9</u>	11,000	<u>51.6</u>	11,000	<u>48.0</u>	7,400	<u>68.1</u>	87.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	86,000,000株	2018年3月期	86,000,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,344,696株	2018年3月期	1,384,268株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	84,621,387株	2018年3月期1Q	84,581,542株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(その他注記情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①市場別の受注高・売上高・受注残高

当第1四半期連結累計期間における受注高は、506億73百万円（前年同四半期比34.1%増）と大幅に増加しました。売上高は、302億78百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。受注残高は、893億15百万円（前年同四半期比30.9%増）と大幅に増加しました。

市場別の内訳としては、パブリック（PUB）市場では、受注高が244億10百万円（前年同四半期比89.0%増）、売上高が71億58百万円（前年同四半期比10.1%増）、受注残高が427億29百万円（前年同四半期比62.3%増）となりました。

自治体のセキュリティ対策やクラウド基盤ビジネスが好調に推移したことが、受注高の大幅な増加を牽引しました。売上高についてもセキュリティ対策やクラウド基盤ビジネスが好調に推移しています。

パートナー事業（ネットワークパートナーズ株式会社）では、受注高が86億11百万円（前年同四半期比32.6%増）、売上高が68億60百万円（前年同四半期比14.1%増）、受注残高が81億3百万円（前年同四半期比15.2%増）となりました。

主要パートナー向けのビジネス及び通信事業者経由のマネージドサービスが、受注高・売上高ともに好調に推移しました。

エンタープライズ（ENT）市場では、受注高が114億7百万円（前年同四半期比1.5%増）、売上高が97億58百万円（前年同四半期比8.9%増）、受注残高が241億84百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

セキュリティ対策、クラウド基盤、働き方改革、I I o Tのビジネスが、受注高・売上高ともに好調に推移しました。

通信事業者（SP）市場では、受注高が61億39百万円（前年同四半期比9.9%減）、売上高が63億93百万円（前年同四半期比0.1%増）、受注残高が141億54百万円（前年同四半期比24.1%増）となりました。

クラウドサービス基盤ビジネスが受注高・売上高ともに好調で、受注高は前年同期を下回ったものの、計画を超過しています。

その他では、受注高が1億3百万円、売上高が1億8百万円、受注残高が1億43百万円となりました。

#### ②商品群別の受注高・売上高・受注残高

商品群別の内訳としては、機器商品群では、受注高が297億66百万円（前年同四半期比27.8%増）、売上高が163億23百万円（前年同四半期比5.9%増）、受注残高が306億65百万円（前年同四半期比35.8%増）となりました。

セキュリティ対策及びクラウド基盤ビジネスが受注・売上ともに好調に推移しました。

サービス商品群では、受注高が209億6百万円（前年同四半期比44.1%増）、売上高が139億55百万円（前年同四半期比10.7%増）、受注残高が586億49百万円（前年同四半期比28.6%増）となりました。

「統合サービス事業」に向けた提案が順調に進捗しており、受注高が大幅に増加し、売上高も増加しています。

#### ③損益の状況

継続して原価低減・サービスの拡大・生産性の改善に努めたことにより、売上総利益は83億82百万円と、上半期予想に対する進捗率が48.2%となりました。販売費及び一般管理費が72億79百万円となった結果、営業利益は11億3百万円（同進捗率40.9%）、経常利益は11億25百万円（同進捗率41.7%）となりましたが、不正取引関連損失28億30百万円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は22億3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は982億77百万円となり、前連結会計年度末に比べて38億69百万円の減少(3.8%減)となりました。

内訳として、流動資産は872億17百万円となり、前連結会計年度末に比べて34億22百万円減少(3.8%減)しました。これは主に、受取手形及び売掛金が142億25百万円、現金及び預金が30億97百万円それぞれ減少し、一方で、たな卸資産が合計で69億58百万円増加したことによるものです。また、固定資産は110億59百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億46百万円の減少(3.9%減)となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は439億23百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億14百万円の減少(1.2%減)となりました。これは主に、前受金が53億8百万円増加し、一方で、買掛金が25億69百万円、未払法人税等が12億8百万円、賞与引当金が17億9百万円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は543億53百万円となり、前連結会計年度末に比べて33億54百万円の減少(5.8%減)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失22億3百万円の計上と配当金の支払い12億69百万円により利益剰余金が34億72百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2018年4月26日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,953	18,855
受取手形及び売掛金	<u>39,509</u>	<u>25,283</u>
有価証券	1,999	1,999
商品	1,904	1,602
未着商品	229	1,002
未成工事支出金	10,992	<u>17,475</u>
貯蔵品	10	16
前払費用	<u>8,618</u>	<u>12,493</u>
その他	<u>5,423</u>	<u>8,490</u>
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	<u>90,639</u>	<u>87,217</u>
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	3,904	3,870
その他	1,221	1,177
有形固定資産合計	<u>5,125</u>	<u>5,048</u>
無形固定資産		
のれん	20	15
その他	1,780	1,695
無形固定資産合計	<u>1,801</u>	<u>1,711</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	<u>271</u>	<u>382</u>
繰延税金資産	2,352	1,948
その他	1,956	1,969
投資その他の資産合計	<u>4,579</u>	<u>4,300</u>
固定資産合計	<u>11,506</u>	<u>11,059</u>
資産合計	<u>102,146</u>	<u>98,277</u>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,553	12,983
リース債務	2,767	2,773
未払金	1,463	1,597
未払法人税等	1,556	348
前受金	12,449	17,757
賞与引当金	2,907	1,197
役員賞与引当金	99	31
その他	2,721	2,464
流動負債合計	39,518	39,154
固定負債		
リース債務	4,539	4,364
資産除去債務	380	382
その他	—	22
固定負債合計	4,919	4,769
負債合計	44,438	43,923
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,279	12,279
資本剰余金	19,462	19,459
利益剰余金	27,061	23,589
自己株式	△1,088	△1,057
株主資本合計	57,715	54,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
繰延ヘッジ損益	△168	△51
その他の包括利益累計額合計	△167	△49
新株予約権	160	133
純資産合計	57,708	54,353
負債純資産合計	102,146	98,277



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	28,015	30,278
売上原価	21,208	21,895
売上総利益	6,807	8,382
販売費及び一般管理費	6,884	7,279
営業利益又は営業損失(△)	△76	1,103
営業外収益		
受取利息	0	0
関係会社業務受託収入	14	19
販売報奨金	3	31
その他	10	12
営業外収益合計	29	64
営業外費用		
支払利息	21	17
為替差損	20	22
その他	2	2
営業外費用合計	43	42
経常利益又は経常損失(△)	△90	1,125
特別損失		
固定資産除却損	4	10
投資有価証券評価損	3	—
不正取引関連損失	—	2,830
特別損失合計	7	2,840
税金等調整前四半期純損失(△)	△98	△1,715
法人税、住民税及び事業税	1	137
法人税等調整額	127	350
法人税等合計	128	488
四半期純損失(△)	△227	△2,203
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△227	△2,203

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
<u>四半期純損失(△)</u>	<u>△227</u>	<u>△2,203</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	29	117
その他の包括利益合計	29	117
<u>四半期包括利益</u>	<u>△197</u>	<u>△2,085</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△197	△2,085

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

不正取引に関する事項

納品実体のない取引を取消処理したことで生じた差額4,454百万円は「流動資産のその他」に含めて表示し、債権については特別損失を計上しております。なお、今後の状況によっては、当社の財政状態や経営成績に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ENT 事業	SP 事業	PUB 事業	パートナ ー事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	8,960	6,385	<u>6,503</u>	6,011	<u>27,860</u>	155	<u>28,015</u>	—	<u>28,015</u>
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	—	—	0	0	227	228	△228	—
計	8,960	6,385	<u>6,503</u>	6,011	<u>27,860</u>	383	<u>28,243</u>	△228	<u>28,015</u>
セグメント利益又は 損失(△)	<u>25</u>	<u>230</u>	<u>△459</u>	<u>227</u>	<u>22</u>	10	<u>33</u>	△110	<u>△76</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サーバサービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益(営業利益)の調整額△110百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等△110百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ENT 事業	SP 事業	PUB 事業	パートナ ー事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,758	6,393	<u>7,158</u>	6,860	<u>30,170</u>	108	<u>30,278</u>	—	<u>30,278</u>
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	—	—	0	0	112	112	△112	—
計	9,758	6,393	<u>7,158</u>	6,860	<u>30,170</u>	220	<u>30,390</u>	△112	<u>30,278</u>
セグメント利益又は 損失(△)	88	710	<u>△200</u>	686	<u>1,284</u>	△28	<u>1,256</u>	△153	<u>1,103</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サーバサービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益(営業利益)の調整額△153百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等△153百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(その他注記情報)  
 (四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
給与手当	2,675百万円	2,694百万円
賞与引当金繰入額	1,036	986
役員賞与引当金繰入額	15	31
退職給付費用	162	163
賃借料	628	673
減価償却費	312	311
のれん償却額	5	5